

DCダイワ・ワールドアセット

(六つの羽/安定コース)
(六つの羽/6分散コース)
(六つの羽/成長コース)

第18期 (決算日 2024年1月10日)

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3719>
<3720>
<3721>

DCダイワ・ワールドアセット (六つの羽/安定コース)

<3719>

追加型投信/内外/資産複合
日経新聞掲載名: DC六羽安定

第18期 2024年1月10日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の債券、リート（不動産投資信託）および株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第18期末	基準価額	21,309円
	純資産総額	9,782百万円
第18期	騰落率	11.8%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

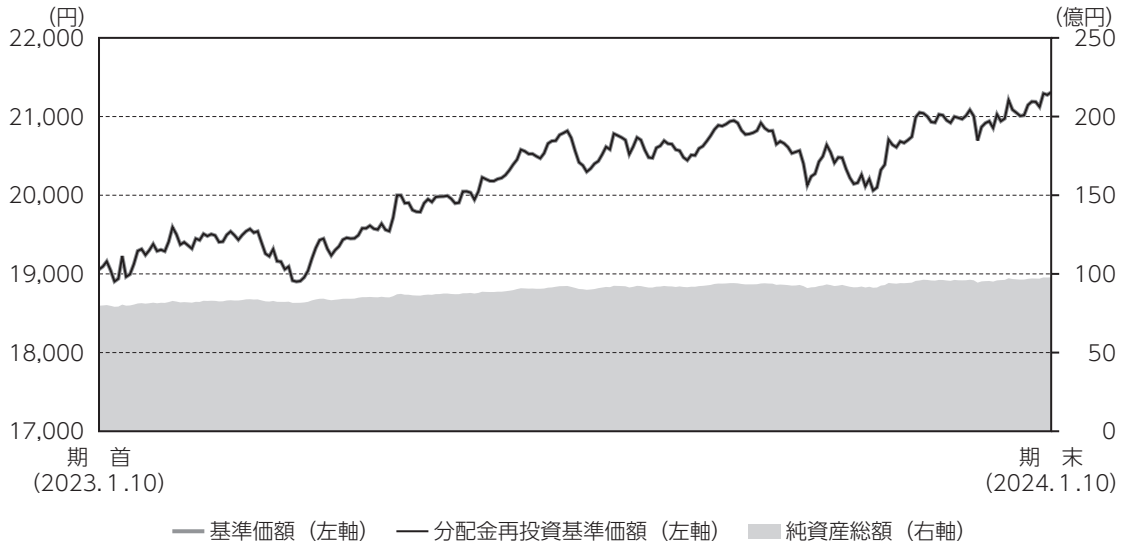
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：19,057円

期末：21,309円 (分配金0円)

騰落率：11.8% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に内外の株式およびリーートの価格上昇と円安がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
外国債券インデックスマザーファンド	12.9%	24.5%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)	1.1%	24.5%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	18.7%	15.3%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	3.7%	14.8%
ダイワ好配当日本株マザーファンド	37.1%	10.1%
ダイワ北米好配当株マザーファンド	28.7%	7.8%
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	24.4%	1.9%
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	19.1%	0.3%

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.1.11~2024.1.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	200円	0.990%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は20,192円です。
（投 信 会 社）	(100)	(0.495)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(89)	(0.440)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(11)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	13	0.064	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(6)	(0.029)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（ハイブリッド優先証券）	(1)	(0.003)	
（投 資 証 券）	(6)	(0.032)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0.009	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（ハイブリッド優先証券）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(2)	(0.009)	
そ の 他 費 用	4	0.019	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(2)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	219	1.082	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

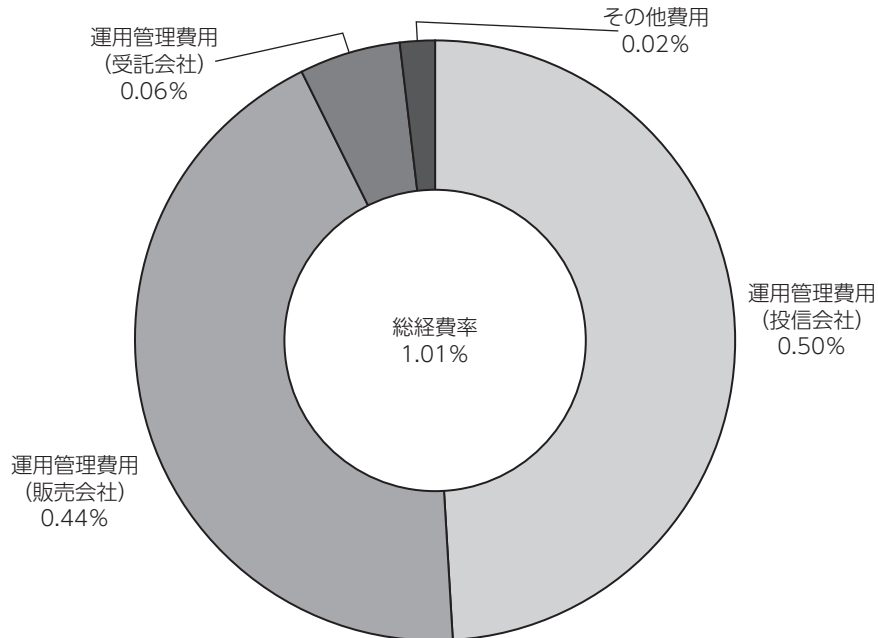
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.01%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月10日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

	2019年1月10日 期初	2020年1月10日 決算日	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日
基準価額 (円)	15,715	17,628	17,702	19,976	19,057	21,309
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	12.2	0.4	12.8	△4.6	11.8
合成指数騰落率 (%)	—	12.9	△0.3	13.8	△4.0	12.8
純資産総額 (百万円)	3,597	4,925	5,838	7,477	7,978	9,782

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指数	配分比率
海外債券	F T S E世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	25%
国内債券	NOMURA-BPI総合指数	25%
海外リート	S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)	15%
国内リート	東証REIT指数 (配当込み)	15%
海外株式	M S C Iコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)	10%
国内株式	T O P I X (配当込み)	10%

(注) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

※上記指数のうち「S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円換算)」を「S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)」に、「MSCIコクサイ指数 (配当込み、円換算)」を「MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

投資環境について

(2023.1.11~2024.1.10)

■海外債券市況

主要国の国債金利は、上昇（債券価格は下落）しました。

主要国の国債金利は、当作成期首より、米国CPI（消費者物価指数）が予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、低下（債券価格は上昇）基調で推移しました。2月は主要国の経済指標が堅調な結果となり、さらなる金融引き締め観測が織り込まれたことで金利は上昇に転じて推移しました。3月は、米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が広がり、将来の利下げ織り込みが加速したことや投資家のリスク回避姿勢が強まったことから金利は低下しましたが、4月から10月にかけては、過度な信用不安の後退や経済指標の上振れなどを背景に、金利は上昇基調で推移しました。その後当作成期末にかけては、経済指標が軟調となったことを受けて利上げサイクルの終了が意識されたことにより、金利は低下しました。

■国内債券市況

国内債券市場では、長期金利は上昇基調で推移しました。

国内長期金利は、当作成期首より2023年2月にかけて、日銀が長期金利の変動許容幅を拡大した影響により、0.4%から0.5%前後で推移しました。3月は、欧米の金融不安の高まりを受けて金利は低下しましたが、4月から6月にかけては、欧米の金融不安が落ち着いたことで上昇し、0.4%から0.5%前後で推移しました。7月から8月にかけては、日銀が金融政策決定会合で長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運用を柔軟化することを決定したことなどから長期金利は上昇し、0.6%前後で推移しました。9月から10月にかけては、米国金利の上昇を受けて国内金利も上昇し、0.7%から1.0%前後で推移しました。その後当作成期末にかけては、米国で利上げサイクルの終了が意識されたことにより、金利は低下基調で推移しました。

■海外リート市況

海外リート市況は上昇しました。

海外リート市況は、当作成期首より、米国長期金利の落ち着きなどを好感し、上昇して始まりました。2023年3月中旬にかけては、米国の利上げ長期化観測や米国の地方銀行の経営破綻をきっかけとする金融システム不安などを背景に、下落しました。9月中旬にかけては、主要中央銀行の金融政策や長期金利、米国の債務上限問題の動向などに左右される中、上下する展開となりました。その後は、米国での堅調な経済指標を受けた金融引き締め長期化観測や長期金利の上昇、中東における地政学リスクの高まりなどを背景に、下落しました。当作成期末にかけては、米国の早期利下げ観測を受けた長期金利の急低下を好感し、大きく上昇しました。

■国内リート市況

国内リート市況は上昇しました。

国内リート市況は、当作成期首より、国内金利の上昇懸念が高まる中で下落しましたが、2023年1月中旬に、日銀が主要政策の現状維持を発表すると反発し、その後はおおむね横ばい圏での推移となりました。3月中旬には、欧米の金融機関の経営破綻や経営危機が報じられて下落に転じましたが、月末にかけては、政府の支援策が打ち出されたこともあり反発しました。4月中旬以降は、好調な決算が発

表されたことや、月末に日銀が金融緩和策の維持を決定したことを受け、国内リート市況は上昇しました。7月末に、日銀が長期金利の実質的な許容上限の引き上げを発表すると、国内リート市況は一時下落しましたが、長期金利の上昇幅が限定的だったこともあり、9月上旬にかけて上昇しました。9月中旬以降は、日米で長期金利の上昇が続き、国内リート市況も下落基調となりました。12月に入ると、金融政策の早期修正が警戒されたことや需給悪化などにより下落しましたが、年末に日銀が金融政策を据え置いたことや割安感が意識され、国内リート市況は反発して当作成期末を迎えました。

■海外株式市況

・北米

北米株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2023年2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、成長株を中心に上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬からは、A I（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やF R Bの政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立により政府機関の閉鎖が回避され一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことやF R B議長発言を受けて利下げ観測が高まったことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

米国ハイブリッド優先証券市況は上昇しました。

米国ハイブリッド優先証券市況は、当作成期首より、米国のインフレ鈍化や景気減速懸念などが金利低下材料となり、上昇して始まりました。2023年2月に入ると、発表された経済指標が軒並み強い結果となったことで金融引き締め観測が高まったことのほか、3月には米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が広がったことから下落しました。F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことや、景気減速懸念が高まったことで金利が急低下したことを受けていったんは反発しましたが、5月月初にかけては、地方銀行の経営不安の再燃などにより再び下落しました。その後6月上旬から9月中旬にかけては、米国国債の需給悪化や好調な米国経済を背景に長期金利が上昇基調で推移する中、上値の重い展開となり、方向感のない動きとなりました。9月下旬に入ると、F R Bの政策金利見通しが引き上げられ高水準の政策金利が長期化するとの見方が強まったことなどから長期金利が大幅に上昇し、下落しました。11月から当作成期末にかけては、F R Bによる追加利上げへの懸念が後退したことから長期金利が低下し、上昇しました。

・欧州

欧州株式市況は上昇しました。

欧州株式市場は、中国におけるゼロコロナ政策撤廃による経済正常化期待や、暖冬でエネルギー一価

格上昇への懸念が後退したことなどを背景に、当作成期首から上昇して始まりました。2023年3月に入ると、米国の地方銀行の経営破綻などにより信用不安が高まり弱含みましたが、信用不安が後退すると4月中旬にかけて反発しました。その後4月下旬から10月にかけては、欧州では各国中央銀行が相次いで利上げに踏み切ったほか、米国では高水準の政策金利が長期化するとの見方が強まったことなどを受けて、上値の重い展開が続きました。11月に入ると、インフレ率の予想以上の鈍化を受けECB（欧州中央銀行）による追加利上げ観測が後退したことなどを背景に、当作成期末にかけて上昇しました。

・アジア・オセアニア

アジア・オセアニア株式市況はおおむね横ばいとなりました。

アジア・オセアニア株式市況は、当作成期首より上昇して始まりましたが、2023年5月半ばにかけては、世界的な景気減速懸念などを背景に、下落基調で推移しました。7月下旬にかけては、半導体市況の回復期待やAI（人工知能）関連ビジネスの拡大期待から、台湾や韓国が上昇しました。10月末にかけては、米国の金融引き締め長期化観測や米国金利の上昇を受けて、軟調に推移しました。当作成期末にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）を受けた米国金利の低下を好感し、堅調に推移しました。

■国内株式市況

国内株式市況は、大幅に上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首より、中国のゼロコロナ政策見直しにより景気回復期待が高まったことや、日銀総裁人事への不透明感が解消して円安が進んだことなどが好感され、2023年3月上旬にかけて上昇しました。3月半ばには、米国地方銀行の経営破綻や欧州金融機関の破綻懸念などによる金融不安の高まりで下落しましたが、4月以降は、経済活動正常化や供給制約解消により企業業績の回復が期待されたこと、日銀新総裁が金融緩和継続の方針を強調し円安が進行したこと、米国著名投資家の強気見通しにより海外投資家の資金が大量に流入したことなどから、大幅に上昇しました。9月下旬以降は、米国における長期金利の上昇や景気の先行き不透明感、パレスチナ情勢の悪化などが懸念されて反落しました。11月以降は、欧米におけるインフレ率の鈍化や金利の低下を受けて海外株式市場が大幅に上昇したこと、決算発表で好調な企業業績が確認されたこと、株主還元拡充の発表が相次いだことなどが好感され、上昇して当作成期末を迎えました。

■為替相場

為替相場は、円安となりました。

対円為替相場は、当作成期首より、インフレ率の低下期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識されたことや、日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇したことなどから、円高が進行しました。2月は、堅調な米国の経済指標を受けて米国金利が大きく上昇したことで、円安に転じて推移しました。3月は、欧米の信用不安により円高に推移しましたが、4月より10月にかけては、過度な信用不安の後退や主要国の金利が上昇したことなどを受けて、円安に推移しました。その後当作成期末にかけては、主要国の金利が低下したことを受けて、円高に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- | | |
|------------------------------|--|
| ・外国債券インデックスマザーファンド | …純資産総額の25% |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） | …純資産総額の25% |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド | …純資産総額の15% |
| ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド | …純資産総額の15% |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド | } …3ファンド合計で純資産総額の10%
(各地域の時価総額に応じて配分します。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド | …純資産総額の10% |

■外国債券インデックスマザーファンド

今後も、ファンドの通貨の比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）

ベンチマークとの高い連動性を維持するように運用を行ってまいります。残存年限別構成や債券種別構成、金利や信用スプレッド（国債以外の債券における国債との利回り格差）への感応度を厳密に管理するとともに、ファンドの資金流入や毎月末に行われるベンチマークのユニバース変更に対しては、売買コストなどに十分配慮しつつ、きめ細かなポートフォリオのリバランスを行います。なお、当ファンドは現在、ベンチマークに含まれるすべての債券種別を組入対象としておりますが、流動性の問題などを勘案し、相対的に格付けの低い銘柄等への投資は見送ることもあります。

■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。普通株式については、今後も企業のファンダメンタルズ、キャッシュフローおよび配当の成長、配当利回り、バリュエーションなどを考慮しながら、ポートフォリオを構築します。ハイブリッド優先証券については、利回り水準やバリュエーションが相対的に魅力的な銘柄を中心にポートフォリオを構築します。

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。銘柄選定では、収益基盤が強固で安定した配当を継続できる銘柄や、収益改善が見込まれる銘柄に選別投資する方針です。

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

当ファンドでは、主としてオーストラリアや中国（香港）、台湾、韓国を中心にアジア・オセアニア地域に上場する株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざします。ポートフォリオの構築にあたっては、各国の投資比率の分散に配慮しつつ、企業のファンダメンタルズ、成長性を勘案し、予想配当利回りおよび各種バリュエーション指標や株価水準等を考慮して銘柄選択を行います。

■ダイワ好配当日本株マザーファンド

株式等の組入比率は、高位を維持する方針です。個別銘柄の選別にあたりましては、予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、中長期的な業績回復・成長の動向やP E R（株価収益率）・P B R（株価純資産倍率）などのバリュエーション指標、配当・自社株買いなどの株主還元政策や資本効率の向上に対する経営姿勢などに注目してまいります。

※C & S：コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

※アムンディ・アイルランド：アムンディ・アイルランド・リミテッド

ポートフォリオについて

(2023. 1. 11~2024. 1. 10)

■当ファンド

当ファンドは、各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行いました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行いました。

- | | |
|-------------------------------|---|
| ・外国債券インデックスマザーファンド | …純資産総額の25% |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I) | …純資産総額の25% |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド | …純資産総額の15% |
| ・ダイワJーR E I Tアクティブ・マザーファンド | …純資産総額の15% |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド | } …3ファンド合計で純資産総額の10%
(各地域の時価総額に応じて配分しました。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド | …純資産総額の10% |

■外国債券インデックスマザーファンド

当作成期におきましては、外国の公社債に投資し、ファンドの通貨の比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざしました。

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)

当ファンドの基準価額の騰落率が、ベンチマークの騰落率に連動することをめざしたポートフォリオ構築を行いました。当作成期を通じて、公社債組入比率を99%前後の高位に保つと同時に、ポートフォリオの満期構成やデュレーション、金利や信用スプレッド（国債以外の債券における国債との利回り格差）の変動に対する感応度などをベンチマークに適切に近づけることにより、高い連動性を維持しました。また、ファンドへの資金流入や毎月末に行われるベンチマークのユニバース変更に対応して、ポートフォリオのリバランスを適宜行いました。

■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。当ファンドでは、信託財産の中長期的な成長をめざし、保有不動産の価値や期待される成長性などと比べてリート価格が魅力的であると考え、銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では、大きなリスクを取らず各地域に分散して投資を行いました。

■ダイワJーR E I Tアクティブ・マザーファンド

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95~98%台程度で推移させました。また、東証R E I T指数先物へ

の投資も行い、先物と合計で95～100%程度で推移させました。リート銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、当作成期を通じてみると、三菱地所物流リート、ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト（現KDX不動産投資法人）、GLPなどを東証REIT指数と比較してオーバーウエートとし、ジャパンリアルエステイト、日本ロジスティクスファンド、森トラストリートなどをアンダーウエートとしました。

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。普通株式については、企業のファンダメンタルズやキャッシュフローの成長性、配当利回りやバリュエーション等を考慮し、キャッシュフローを生み出し、魅力的な配当利回りを将来にわたって提供できると考える銘柄を中心としたポートフォリオとしました。ハイブリッド優先証券については、利回り水準やバリュエーションが相対的に魅力的な銘柄を中心としたポートフォリオとしました。

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は高位に維持しました。銘柄選定にあたって、アムンディ・アイルランドは、収益基盤が強固で安定した配当を継続できる銘柄や、収益改善が見込まれる銘柄に選別投資しました。

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

オーストラリアや中国（香港）、台湾、韓国を中心に、高い利益成長が見込まれた銘柄や予想配当利回りが高いと判断された銘柄などを組み入れました。国別では、各国の投資比率の分散に配慮しつつ、オーストラリア、台湾、韓国を高位に組み入れました。セクター別では、情報技術や金融を高位に組み入れました。

■ダイワ好配当日本株マザーファンド

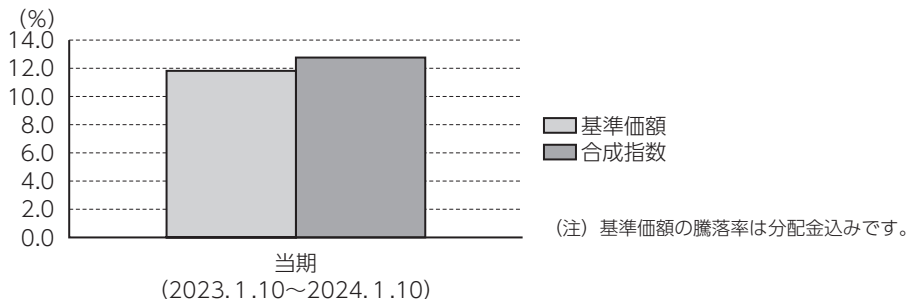
株式等の組入比率は、おおむね高位で推移させました。国内の経済活動の正常化が進み、日米の金融政策の転換が警戒された環境下では、回復・成長する企業業績の変化に注目したほか、株主還元の向上に取り組む企業などに注目して、銘柄の入替えを行いました。業種構成は非鉄金属、機械、海運業などの比率を引き上げた一方、保険業、電気機器、化学などの比率を引き下げました。個別銘柄では、業績見通しや配当利回りの水準などを総合的に勘案して、トヨタ自動車、三井住友フィナンシャルG、住友電工などを買付けました。一方で、伊藤忠商事、東レ、第一生命HLDG Sなどを売却しました。

* マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

組入ファンド	ベンチマーク
外国債券インデックスマザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	NOMURA-BPI総合指数

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（合成指数）との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、確定拠出型年金向けファンドであることを考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年1月11日 ～2024年1月10日	
当期分配金（税込み） (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配可能額 (円)	11,730	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配可能額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いするものではありません。

※なお、投資信託約款上の分配対象額は、上記分配可能額のうち経費控除後の配当等収益等です。



今後の運用方針

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- | | |
|------------------------------|--|
| ・外国債券インデックスマザーファンド | …純資産総額の25% |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） | …純資産総額の25% |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド | …純資産総額の15% |
| ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド | …純資産総額の15% |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド | } … 3 ファンド合計で純資産総額の10%
(各地域の時価総額に応じて配分します。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド | …純資産総額の10% |

■外国債券インデックスマザーファンド

今後も、ファンドの通貨の比率をベンチマークに極力近づけ、かつ、ファンドとベンチマークの金利変動に対する価格感応度を近づけることにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）

ベンチマークとの高い連動性を維持するように運用を行ってまいります。残存年限別構成や債券種別構成、金利や信用スプレッド（国債以外の債券における国債との利回り格差）への感応度を厳密に管理するとともに、ファンドの資金流入や毎月末に行われるベンチマークのユニバース変更に対しては、売買コストなどに十分配慮しつつ、きめ細かなポートフォリオのリバランスを行います。なお、当ファンドは現在、ベンチマークに含まれるすべての債券種別を組入対象としておりますが、流動性の問題などを勘案し、相対的に格付けの低い銘柄等への投資は見送ることもあります。

■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

安定的な配当利回りの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C & S に運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案し投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつ国内リートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、C & Sに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。普通株式については、今後も企業のファンダメンタルズ、キャッシュフローおよび配当の成長、配当利回り、バリュエーションなどを考慮しながら、ポートフォリオを構築します。ハイブリッド優先証券については、利回り水準やバリュエーションが相対的に魅力的な銘柄を中心にポートフォリオを構築します。

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アイルランドに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。銘柄選定では、収益基盤が強固で安定した配当を継続できる銘柄や、収益改善が見込まれる銘柄に選別投資する方針です。

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

当ファンドでは、主としてオーストラリアや中国（香港）、台湾、韓国を中心にアジア・オセアニア地域に上場する株式へ投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得による信託財産の中長期的な成長をめざします。ポートフォリオの構築にあたっては、各国の投資比率の分散に配慮しつつ、企業のファンダメンタルズ、成長性を勘案し、予想配当利回りおよび各種バリュエーション指標や株価水準等を考慮して銘柄選択を行います。

■ダイワ好配当日本株マザーファンド

株式等の組入比率は、高位を維持する方針です。個別銘柄の選別にあたりましては、予想配当利回りが高いと判断される銘柄を中心に、中長期的な業績回復・成長の動向やP E R（株価収益率）・P B R（株価純資産倍率）などのバリュエーション指標、配当・自社株買いなどの株主還元策や資本効率の向上に対する経営姿勢などに注目してまいります。



当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2006年1月12日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	外国債券インデックスマザーファンド	外国の公社債
	ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	内外の公社債等（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。）
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

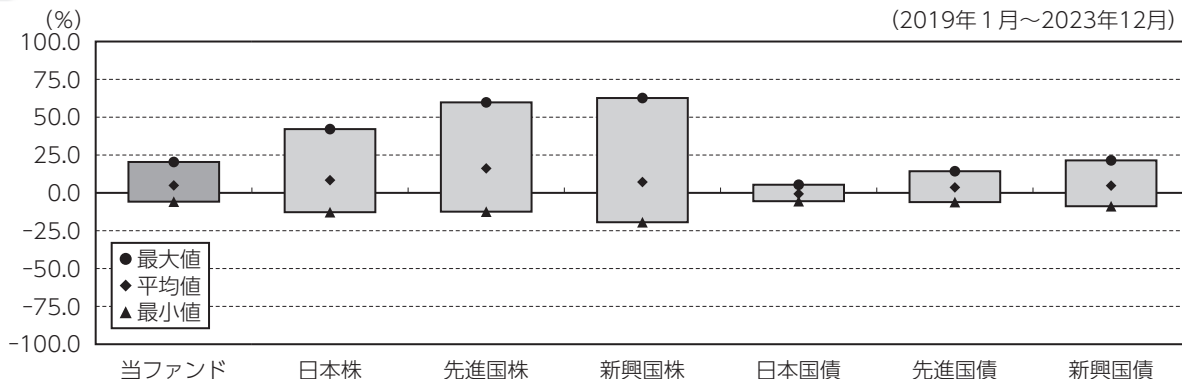
※配当込みTOPIX（本書類における「TOPIX（配当込み）」をいう。）の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有する。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。当ファンドは、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負わない。

※NOMURA-BPI総合指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及び同指数に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

※FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	20.4	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	4.9	8.4	16.2	7.2	△0.7	3.6	4.8
最小値	△5.8	△12.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



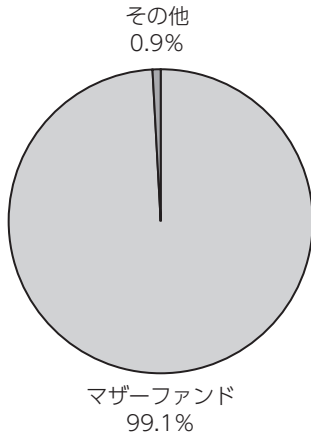
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

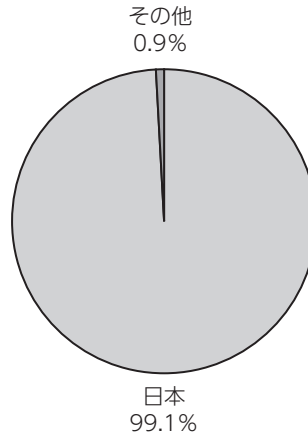
組入ファンド等

	比率
外国債券インデックスマザーファンド	24.5%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)	24.5
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	15.3
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	14.8
ダイワ好配当日本株マザーファンド	10.1
ダイワ北米好配当株マザーファンド	7.8
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	1.9
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	0.3
その他	0.9

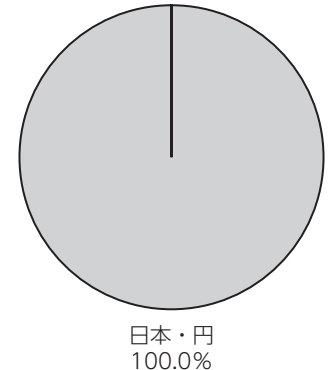
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月10日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2024年1月10日
純資産総額	9,782,814,525円
受益権総口数	4,590,954,586口
1万口当り基準価額	21,309円

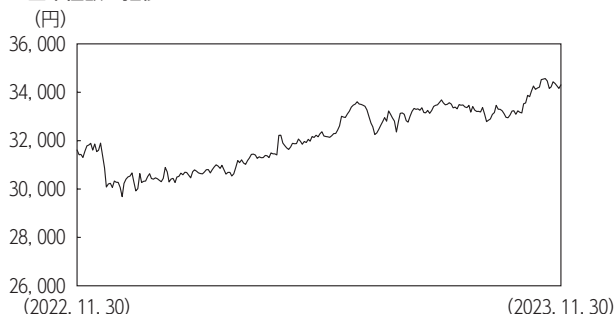
* 当期中における追加設定元本額は793,333,632円、同解約元本額は389,010,333円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆外国債券インデックスマザーファンド（作成対象期間 2022年12月1日～2023年11月30日）

■基準価額の推移



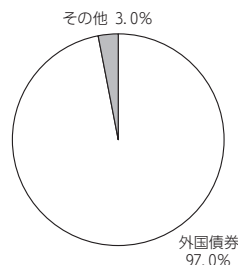
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 (4)
(その他)	(0)
合計	4

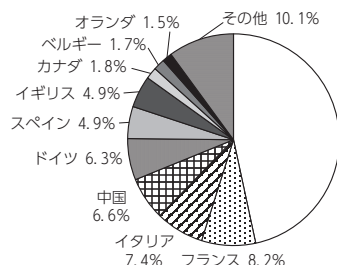
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 4.125% 2032/11/15	アメリカ・ドル	0.5%
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 1.875% 2032/2/15	アメリカ・ドル	0.5
United States Treasury Note/Bond 1.125% 2031/2/15	アメリカ・ドル	0.5
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.75% 2032/8/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 2.875% 2032/5/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 1.25% 2031/8/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 1.375% 2031/11/15	アメリカ・ドル	0.4
United States Treasury Note/Bond 0.875% 2030/11/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.5% 2033/2/15	アメリカ・ドル	0.4
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.375% 2033/5/15	アメリカ・ドル	0.4
組入銘柄数	974銘柄	

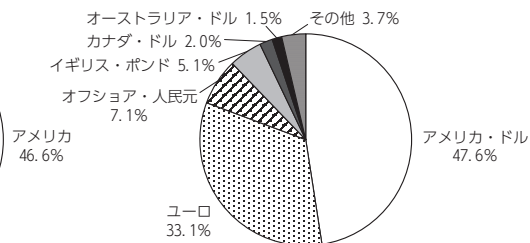
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

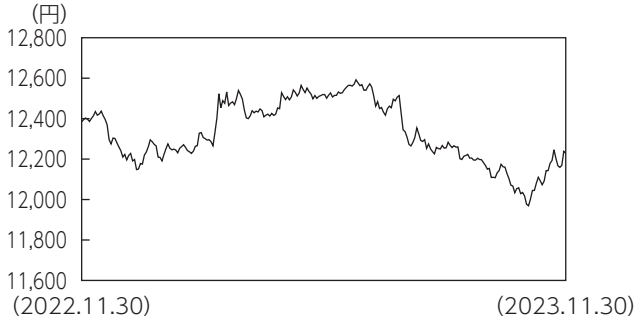
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）（作成対象期間 2022年12月1日～2023年11月30日）

■基準価額の推移



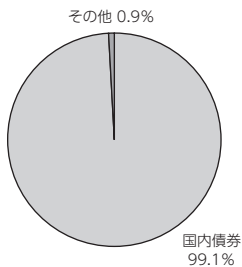
■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用		-
合	計	-

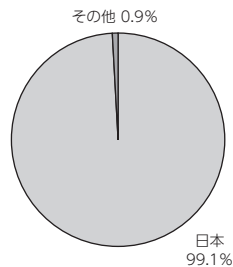
■組入上位銘柄

銘柄名	比率
145 5年国債 0.1% 2025/9/20	2.0%
143 5年国債 0.1% 2025/3/20	1.7
147 5年国債 0.005% 2026/3/20	1.5
347 10年国債 0.1% 2027/6/20	1.3
144 5年国債 0.1% 2025/6/20	1.2
149 5年国債 0.005% 2026/9/20	1.2
156 5年国債 0.2% 2027/12/20	1.1
366 10年国債 0.2% 2032/3/20	1.1
337 10年国債 0.3% 2024/12/20	1.0
370 10年国債 0.5% 2033/3/20	1.0
組入銘柄数	336銘柄

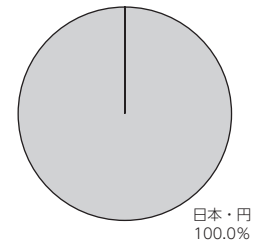
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

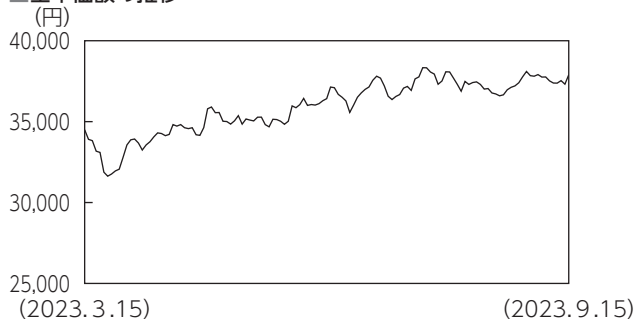
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（作成対象期間 2023年3月16日～2023年9月15日）

■基準価額の推移



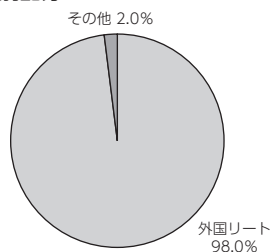
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (投資証券)	14円 (14)
有価証券取引税 (投資証券)	11 (11)
その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)
合計	28

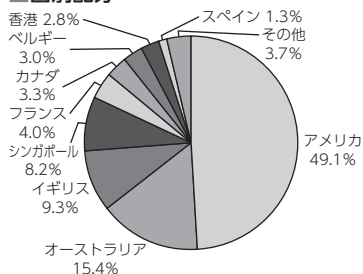
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	5.6%
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	4.7
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.4
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.0
INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	3.8
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.7
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	3.2
LINK REIT	香港・ドル	2.8
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	2.6
PARKWAYLIFE REAL ESTATE	シンガポール・ドル	2.3
組入銘柄数		68銘柄

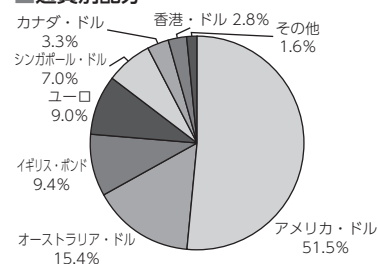
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

DCダイワ・ワールドアセット (六つの羽／6分散コース)

<3720>

追加型投信／内外／資産複合
日経新聞掲載名：DC六羽6分

第18期 2024年1月10日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の債券、リート（不動産投資信託）および株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第18期末	基準価額	24,153円
	純資産総額	11,710百万円
第18期	騰落率	15.0%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



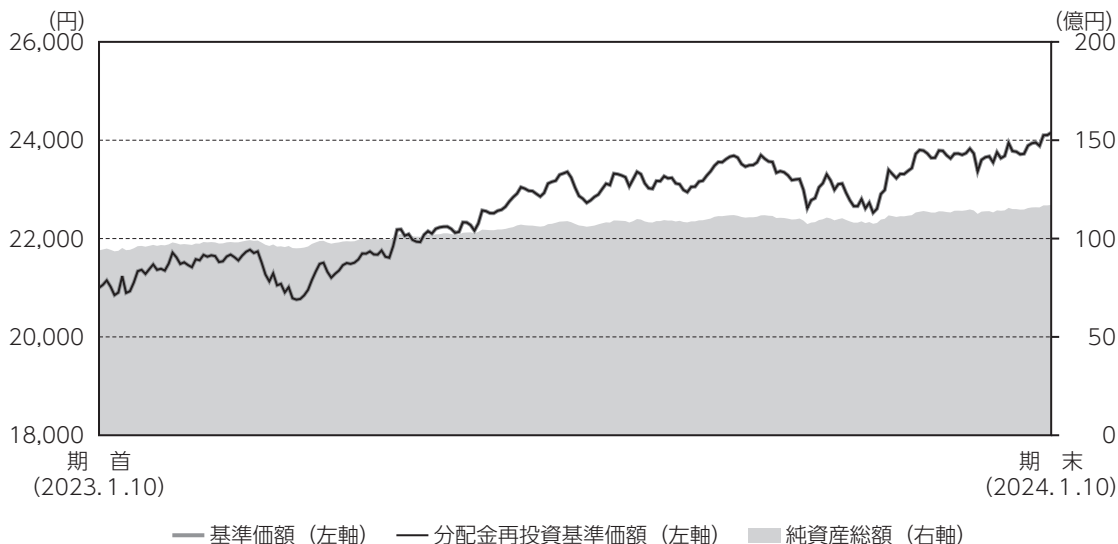
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：20,999円

期末：24,153円（分配金0円）

騰落率：15.0%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に内外の

株式およびリーートの価格上昇と円安がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	18.7%	17.2%
ダイワ好配当日本株マザーファンド	37.1%	16.7%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	3.7%	16.3%
外国債券インデックスマザーファンド	12.9%	16.2%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (BPI)	1.1%	16.2%
ダイワ北米好配当株マザーファンド	28.7%	12.9%
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	24.4%	3.1%
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	19.1%	0.5%

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.1.11~2024.1.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	261円	1.155%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は22,589円です。
(投 信 会 社)	(132)	(0.583)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(117)	(0.517)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(12)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	20	0.089	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.048)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(ハイブリッド優先証券)	(1)	(0.005)	
(投 資 証 券)	(8)	(0.035)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0.010	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(ハイブリッド優先証券)	(0)	(0.000)	
(投 資 証 券)	(2)	(0.010)	
そ の 他 費 用	5	0.022	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	288	1.276	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

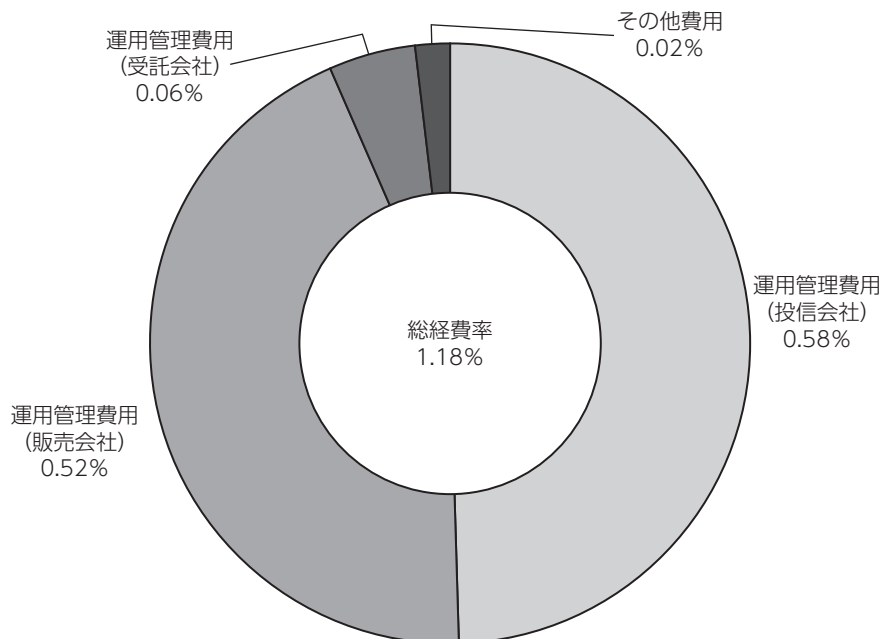
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。

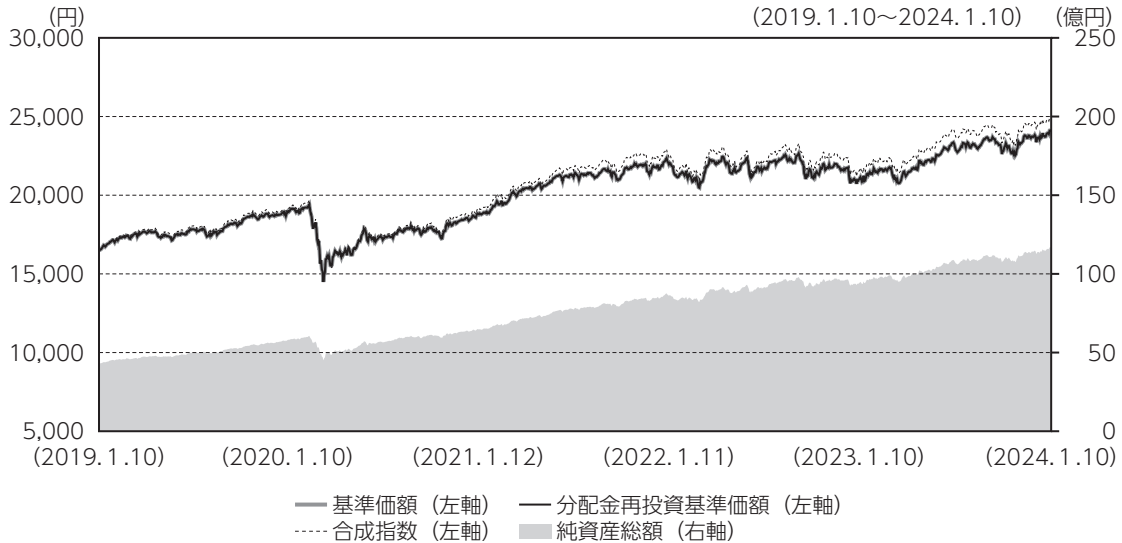


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月10日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

	2019年1月10日 期初	2020年1月10日 決算日	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日
基準価額 (円)	16,467	18,888	18,830	21,960	20,999	24,153
分配金 (税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	-	14.7	△0.3	16.6	△4.4	15.0
合成指数騰落率 (%)	-	15.9	0.1	17.4	△4.0	16.2
純資産総額 (百万円)	4,290	5,783	6,484	8,604	9,398	11,710

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指数	配分比率
海外債券	F T S E世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	16.7%
国内債券	NOMURA-BPI総合指数	16.7%
海外リート	S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)	16.7%
国内リート	東証REIT指数 (配当込み)	16.7%
海外株式	M S C Iコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)	16.7%
国内株式	T O P I X (配当込み)	16.7%

(注) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 ※上記指数のうち「S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円換算)」を「S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)」に、「M S C Iコクサイ指数 (配当込み、円換算)」を「M S C Iコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

投資環境について

(2023.1.11~2024.1.10)

6～8ページをご参照ください。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- | | |
|------------------------------|---|
| ・外国債券インデックスマザーファンド | …純資産総額の16.7% |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） | …純資産総額の16.7% |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド | …純資産総額の16.7% |
| ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド | …純資産総額の16.7% |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド | } … 3ファンド合計で純資産総額の16.7%
(各地域の時価総額に応じて配分します。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド | …純資産総額の16.7% |

■外国債券インデックスマザーファンド

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）

■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

■ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

■ダイワ好配当日本株マザーファンド

} 9～10ページをご参照ください。

ポートフォリオについて

(2023.1.11~2024.1.10)

■当ファンド

当ファンドは、各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行いました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行いました。

・外国債券インデックスマザーファンド	…純資産総額の16.7%
・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)	…純資産総額の16.7%
・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	…純資産総額の16.7%
・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	…純資産総額の16.7%
・ダイワ北米好配当株マザーファンド	} …3ファンド合計で純資産総額の16.7% (各地域の時価総額に応じて配分しました。)
・ダイワ欧州好配当株マザーファンド	
・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	
・ダイワ好配当日本株マザーファンド	…純資産総額の16.7%

■外国債券インデックスマザーファンド

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

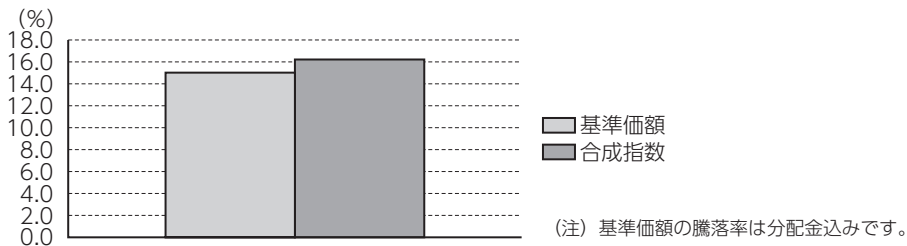
■ダイワ好配当日本株マザーファンド

} 11~12ページをご参照ください。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（合成指数）との騰落率の対比です。



当期
(2023.1.10~2024.1.10)

分配金について

当作成期は、確定拠出型年金向けファンドであることを考慮し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年1月11日 ～2024年1月10日	
当期分配金（税込み） (円)	-	
対基準価額比率 (%)	-	
当期の収益 (円)	-	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配可能額 (円)	14,805	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配可能額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

※なお、投資信託約款上の分配対象額は、上記分配可能額のうち経費控除後の配当等収益等です。



今後の運用方針

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- ・外国債券インデックスマザーファンド …純資産総額の16.7%
 - ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I) …純資産総額の16.7%
 - ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド …純資産総額の16.7%
 - ・ダイワJーR E I Tアクティブ・マザーファンド …純資産総額の16.7%
 - ・ダイワ北米好配当株マザーファンド
 - ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド
 - ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド
 - ・ダイワ好配当日本株マザーファンド
- … 3ファンド合計で純資産総額の16.7%
(各地域の時価総額に応じて配分します。)
- …純資産総額の16.7%

■外国債券インデックスマザーファンド

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド (B P I)

■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

■ダイワJーR E I Tアクティブ・マザーファンド

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

■ダイワ好配当日本株マザーファンド

14～15ページをご参照ください。



当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2006年1月12日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	外国債券インデックスマザーファンド	外国の公社債
	ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	内外の公社債等（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。）
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

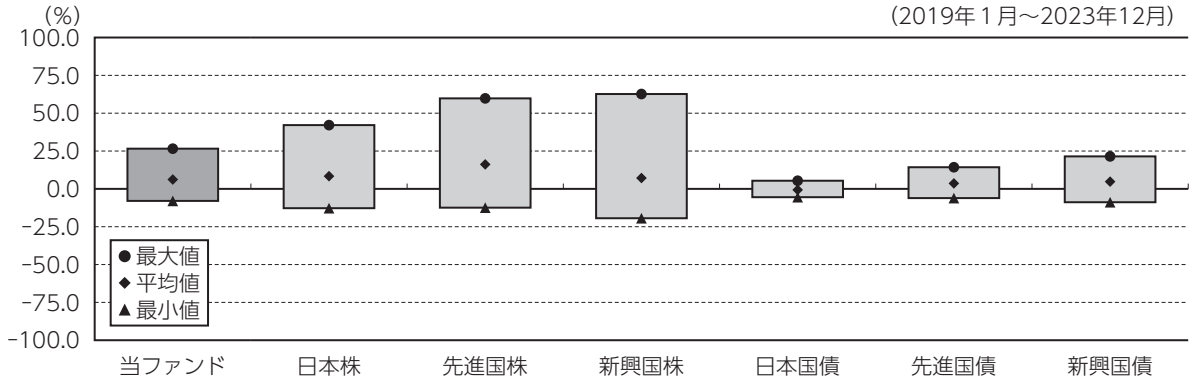
※配当込みTOPIX（本書類における「TOPIX（配当込み）」をいう。）の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有する。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。当ファンドは、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負わない。

※NOMURA-BPI総合指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及び同指数に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

※FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.6	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	6.2	8.4	16.2	7.2	△0.7	3.6	4.8
最小値	△7.9	△12.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



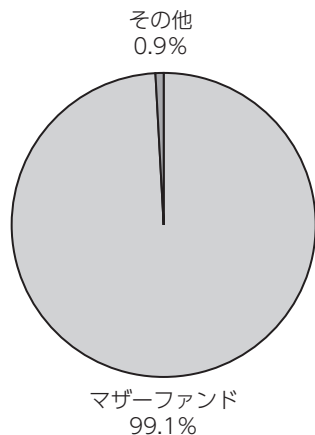
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

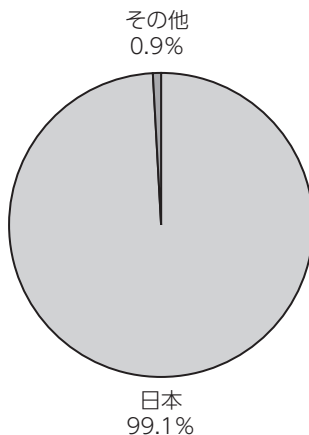
組入ファンド等

	比率
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	17.2%
ダイワ好配当日本株マザーファンド	16.7
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	16.3
外国債券インデックスマザーファンド	16.2
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	16.2
ダイワ北米好配当株マザーファンド	12.9
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	3.1
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	0.5
その他	0.9

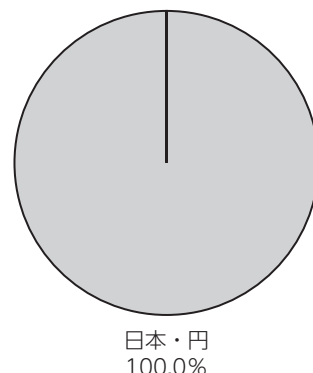
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月10日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項目	当期末
	2024年1月10日
純資産総額	11,710,771,031円
受益権総口数	4,848,519,962口
1万口当たり基準価額	24,153円

* 当期中における追加設定元本額は850,834,868円、同解約元本額は478,063,755円です。

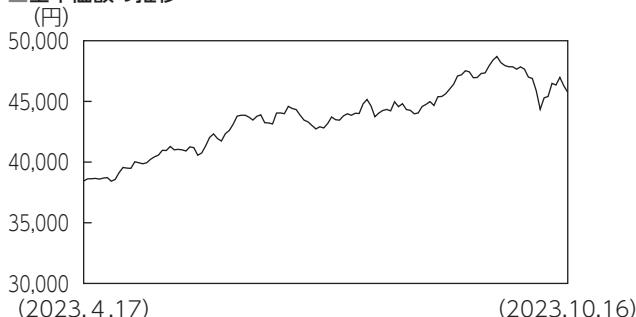
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

- ◆ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド（作成対象期間 2023年3月16日～2023年9月15日）
21ページをご参照ください。

◆ダイワ好配当日本株マザーファンド（作成対象期間 2023年4月18日～2023年10月16日）

■基準価額の推移



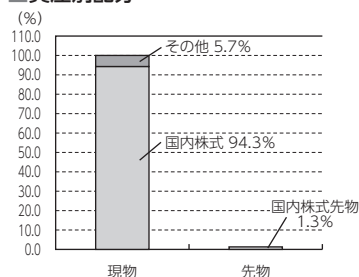
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (株式)	69円 (69)
(先物・オプション)	(0)
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	69

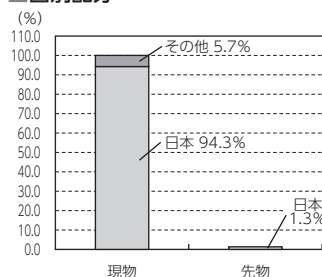
■組入上位銘柄

銘柄名	比率
三菱UFJフィナンシャルG	5.3%
トヨタ自動車	5.3
東京海上HD	4.3
三菱商事	3.7
日本電信電話	3.6
日立	3.1
三井住友フィナンシャルG	3.0
小松製作所	2.9
ダイワボウHD	2.2
三菱重工業	2.2
組入銘柄数	91銘柄 (先物含む)

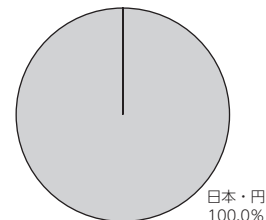
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

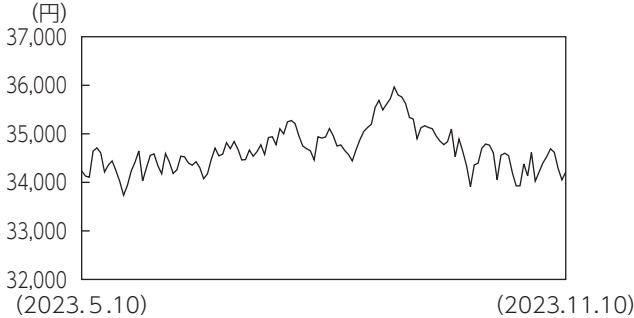
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド (作成対象期間 2023年5月11日~2023年11月10日)

■基準価額の推移



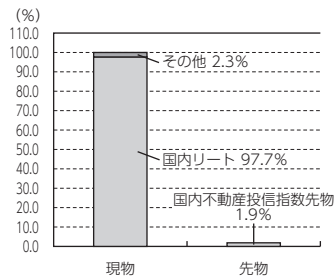
■1万口当りの費用の明細

項目	
売買委託手数料 (先物・オプション) (投資証券)	25円 (0) (25)
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	25

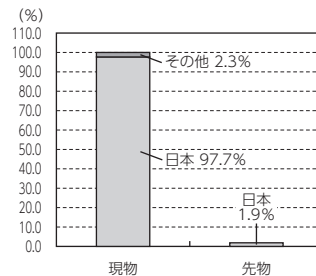
■組入上位銘柄

銘柄名	比率
日本ビルファンド	8.4%
日本プロロジスリート	6.6%
GLP投資法人	6.2%
KDX不動産投資法人	5.4%
大和ハウスリート投資法人	5.1%
日本都市ファンド投資法人	5.1%
日本アコモデーションファンド投資法人	3.8%
野村不動産マスターF	3.8%
ジャパン・ホテル・リート投資法人	3.6%
日本プライムリアルティ	3.5%
組入銘柄数	49銘柄 (先物含む)

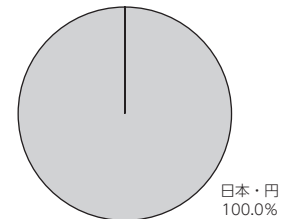
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

DCダイワ・ワールドアセット (六つの羽／成長コース)

<3721>

追加型投信／内外／資産複合
日経新聞掲載名：DC六羽成長

第18期 2024年1月10日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、内外の債券、リート（不動産投資信託）および株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第18期末	基準価額	28,278円
	純資産総額	15,653百万円
第18期	騰落率	19.2%
	分配金	0円

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書（全体版）」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書（全体版）」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



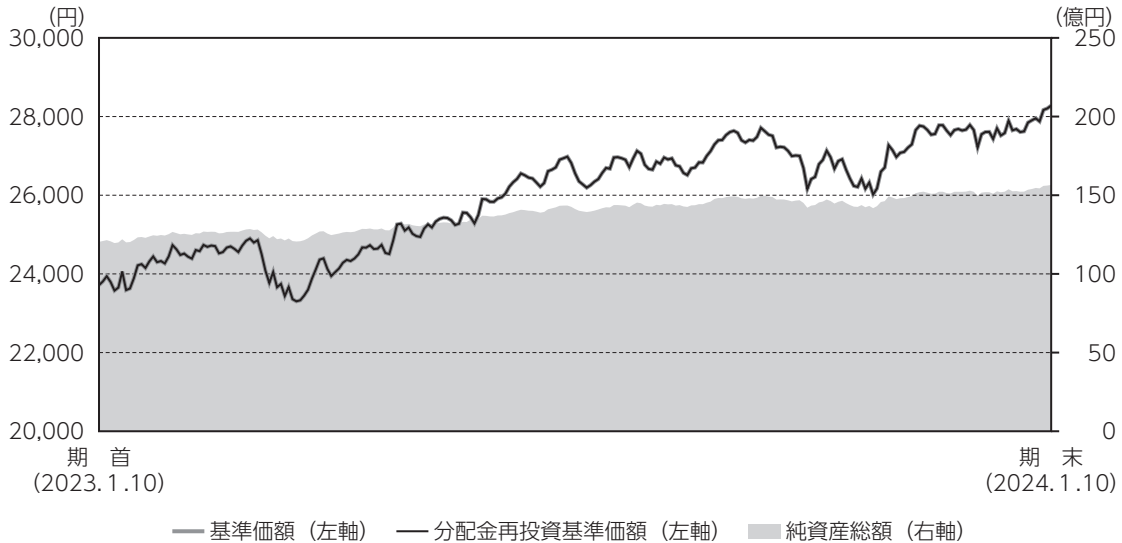
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書（全体版）を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：23,715円

期末：28,278円（分配金0円）

騰落率：19.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資した結果、主に内外の株式およびリートの価格上昇と円安がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ好配当日本株マザーファンド	37.1%	24.9%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	18.7%	20.5%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	3.7%	19.4%
ダイワ北米好配当株マザーファンド	28.7%	19.2%
外国債券インデックスマザーファンド	12.9%	4.8%
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	1.1%	4.8%
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	24.4%	4.6%
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	19.1%	0.8%

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.1.11~2024.1.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	343円	1.320%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は26,003円です。
（投 信 会 社）	(174)	(0.671)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(154)	(0.594)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(14)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	32	0.122	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(19)	(0.072)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（ハイブリッド優先証券）	(2)	(0.008)	
（投 資 証 券）	(11)	(0.042)	
有 価 証 券 取 引 税	3	0.013	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.001)	
（ハイブリッド優先証券）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(3)	(0.011)	
そ の 他 費 用	6	0.024	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(4)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(2)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	385	1.479	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

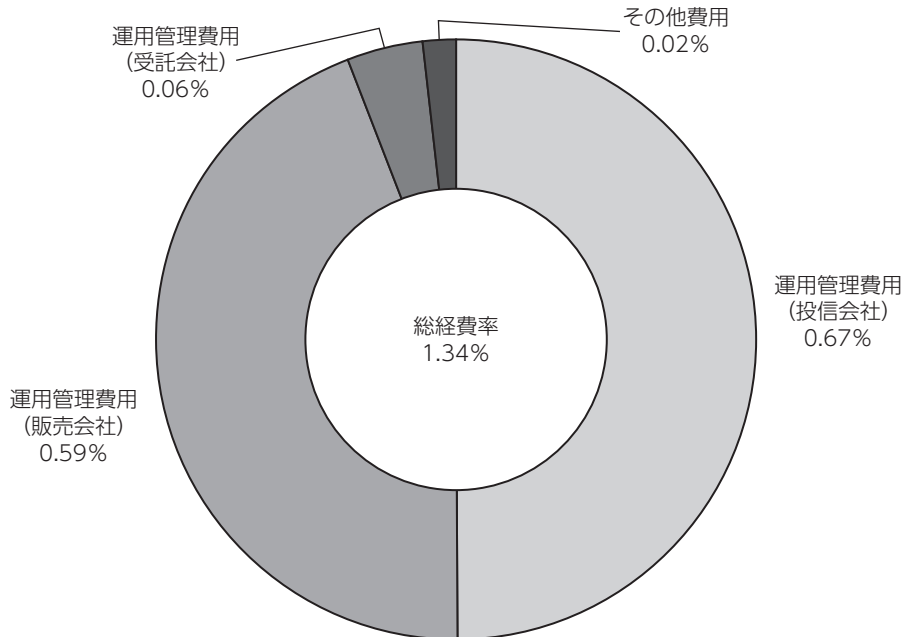
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.34%です。

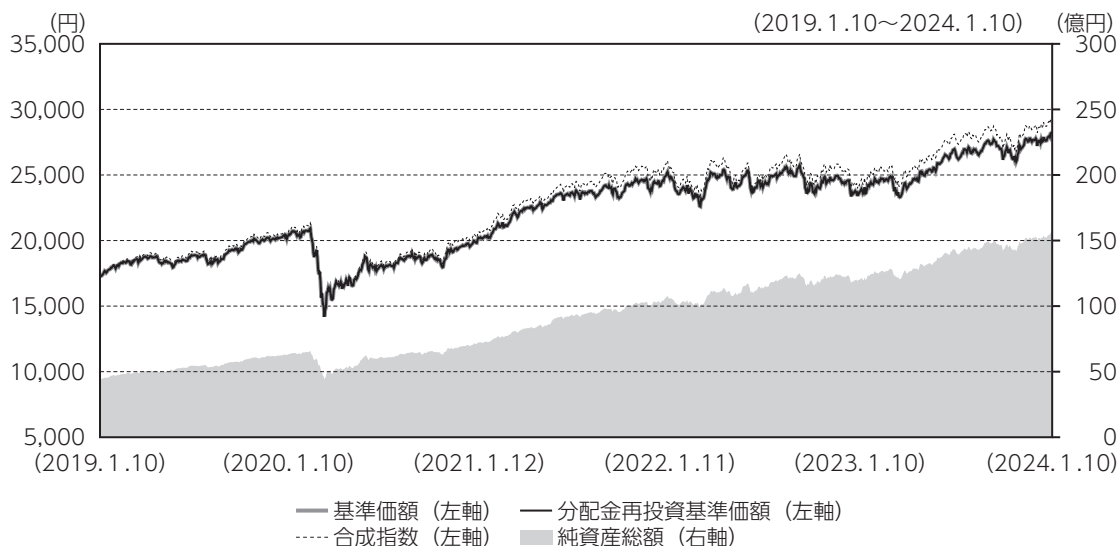


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月10日の基準価額をもとに指数化したものです。

*参考指数は合成指数です。

	2019年1月10日 期初	2020年1月10日 決算日	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日
基準価額 (円)	17,206	20,384	20,216	24,728	23,715	28,278
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	18.5	△0.8	22.3	△4.1	19.2
合成指数騰落率 (%)	—	20.1	△0.0	22.9	△4.1	20.8
純資産総額 (百万円)	4,424	6,327	7,237	10,544	12,038	15,653

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 合成指数は、下記の指数と配分比率をもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資対象資産	指数	配分比率
海外債券	F T S E世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	5%
国内債券	NOMURA-BPI総合指数	5%
海外リート	S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)	20%
国内リート	東証REIT指数 (配当込み)	20%
海外株式	M S C Iコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)	25%
国内株式	T O P I X (配当込み)	25%

(注) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 ※上記指数のうち「S & P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円換算)」を「S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)」に、「MSCIコクサイ指数 (配当込み、円換算)」を「MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

投資環境について

(2023.1.11～2024.1.10)

6～8ページをご参照ください。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- | | |
|------------------------------|--|
| ・外国債券インデックスマザーファンド | …純資産総額の5% |
| ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I） | …純資産総額の5% |
| ・ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド | …純資産総額の20% |
| ・ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド | …純資産総額の20% |
| ・ダイワ北米好配当株マザーファンド | } …3ファンド合計で純資産総額の25%
(各地域の時価総額に応じて配分します。) |
| ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド | |
| ・ダイワ好配当日本株マザーファンド | …純資産総額の25% |

■外国債券インデックスマザーファンド

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（B P I）

■ダイワ・グローバルR E I T・マザーファンド

■ダイワJ－R E I Tアクティブ・マザーファンド

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

■ダイワ好配当日本株マザーファンド

9～10ページをご参照ください。

ポートフォリオについて

(2023.1.11~2024.1.10)

■当ファンド

当ファンドは、各マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行いました。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、以下の標準組入比率をめどに投資を行いました。

・外国債券インデックスマザーファンド	…純資産総額の5%
・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	…純資産総額の5%
・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	…純資産総額の20%
・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	…純資産総額の20%
・ダイワ北米好配当株マザーファンド	} …3ファンド合計で純資産総額の25% (各地域の時価総額に応じて配分しました。)
・ダイワ欧州好配当株マザーファンド	
・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	
・ダイワ好配当日本株マザーファンド	…純資産総額の25%

■外国債券インデックスマザーファンド

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

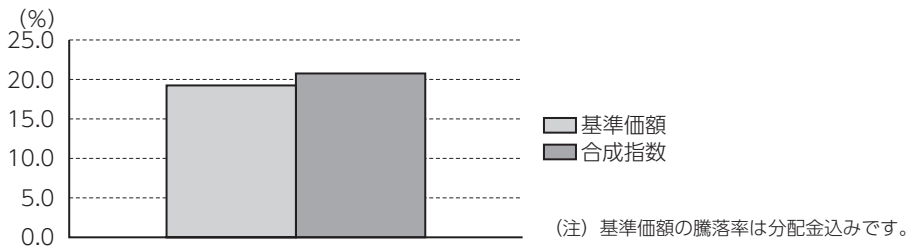
■ダイワ好配当日本株マザーファンド

11~12ページをご参照ください。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（合成指数）との騰落率の対比です。



当期
(2023.1.10~2024.1.10)

分配金について

当作成期は、確定拠出型年金向けファンドであることを考慮し、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年1月11日 ～2024年1月10日	
当期分配金（税込み） (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配可能額 (円)		19,348

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配可能額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

※なお、投資信託約款上の分配対象額は、上記分配可能額のうち経費控除後の配当等収益等です。



今後の運用方針

■当ファンド

各マザーファンドを通じて、内外の債券、リートおよび株式に投資を行い、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行います。

- ・外国債券インデックスマザーファンド …純資産総額の5%
 - ・ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI） …純資産総額の5%
 - ・ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド …純資産総額の20%
 - ・ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド …純資産総額の20%
 - ・ダイワ北米好配当株マザーファンド
 - ・ダイワ欧州好配当株マザーファンド
 - ・ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド
 - ・ダイワ好配当日本株マザーファンド
- …3ファンド合計で純資産総額の25%
（各地域の時価総額に応じて配分します。）
- …純資産総額の25%

■外国債券インデックスマザーファンド

■ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）

■ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド

■ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド

■ダイワ北米好配当株マザーファンド

■ダイワ欧州好配当株マザーファンド

■ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド

■ダイワ好配当日本株マザーファンド

14～15ページをご参照ください。



当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2006年1月12日）	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	下記の各マザーファンドの受益証券
	外国債券インデックスマザーファンド	外国の公社債
	ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	内外の公社債等（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。）
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	海外の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）および店頭登録（登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
	ダイワ北米好配当株マザーファンド	北米の金融商品取引所上場または店頭登録の株式およびハイブリッド優先証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ欧州好配当株マザーファンド	欧州の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	アジア・オセアニアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
	ダイワ好配当日本株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	主として、マザーファンドを通じて内外の公社債、不動産投資信託証券および株式に投資を行ない、安定的な配当等収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

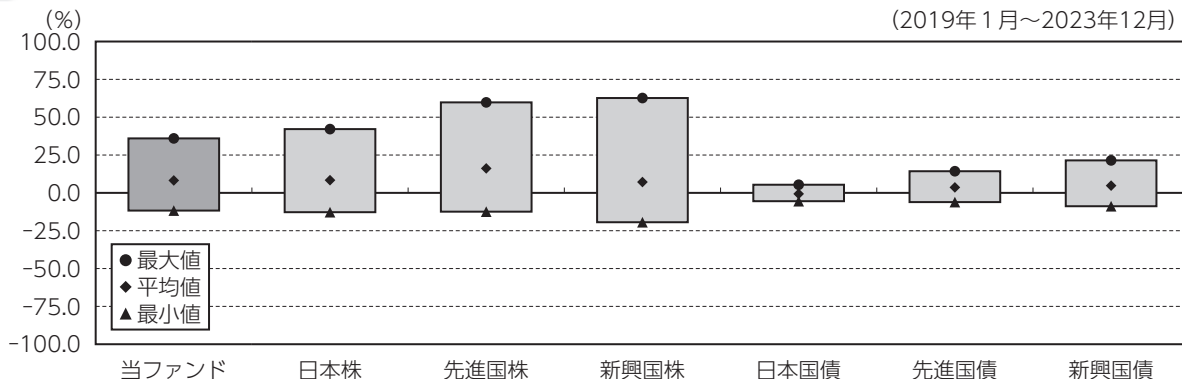
※配当込みTOPIX（本書類における「TOPIX（配当込み）」をいう。）の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有する。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。当ファンドは、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負わない。

※NOMURA-BPI総合指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及び同指数に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

※FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.0	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	8.2	8.4	16.2	7.2	△0.7	3.6	4.8
最小値	△11.7	△12.8	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



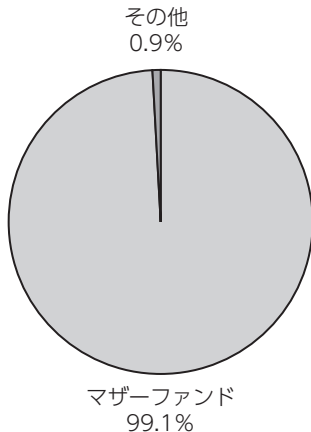
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

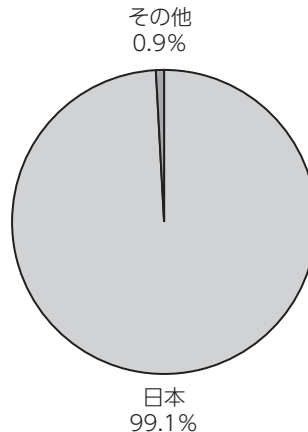
組入ファンド等

	比 率
ダイワ好配当日本株マザーファンド	24.9%
ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	20.5
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	19.4
ダイワ北米好配当株マザーファンド	19.2
外国債券インデックスマザーファンド	4.8
ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	4.8
ダイワ欧州好配当株マザーファンド	4.6
ダイワ・アジア・オセアニア好配当株マザーファンド	0.8
その他	0.9

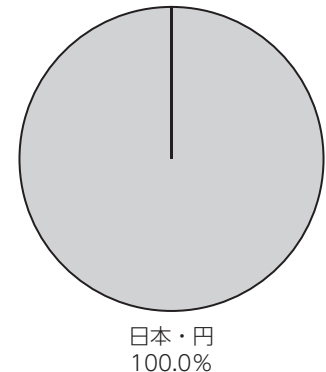
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月10日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	当 期 末
	2024年1月10日
純資産総額	15,653,816,556円
受益権総口数	5,535,598,650口
1万口当り基準価額	28,278円

※当期中における追加設定元本額は1,000,538,169円、同解約元本額は541,007,076円です。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

- ◆**ダイワ好配当日本株マザーファンド**（作成対象期間 2023年4月18日～2023年10月16日）
35ページをご参照ください。
- ◆**ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド**（作成対象期間 2023年3月16日～2023年9月15日）
21ページをご参照ください。
- ◆**ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド**（作成対象期間 2023年5月11日～2023年11月10日）
36ページをご参照ください。

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management